

令和元年度第1回尾張旭市児童館運営委員会会議録

- 1 開催日時
令和元年10月29日(火)
開会 午前10時00分
閉会 午前11時30分
- 2 開催場所
尾張旭市役所 講堂2
- 3 出席委員
大竹厚美、村口やす子、川島弘子、中島美彩、谷山れい子、山田麻記子、
中川暢顕、長谷川環、竹内美保子、小高京子、秋田貴子、高島亜矢子 12名
- 4 欠席委員
なし
- 5 傍聴者数
なし
- 6 出席した事務局職員
こども子育て部長 阿部智晶、こども課長 後藤収、
こども課主幹 竹中美喜、こども課こども係長 小椋基美、
こども課こども係主事 峯村駿
- 7 議題等
(1) 児童館事業の実施状況等について
(2) ランドセル来館事業の試行について
- 8 配布資料
 - ・ 令和元年度第1回尾張旭市児童館運営委員会次第
 - ・ 尾張旭市児童館運営委員会委員名簿
 - ・ 令和元年度第1回尾張旭市児童館運営委員会座席表
 - ・ 児童館事業の実施状況等について・・・資料1
 - ・ 児童館ランドセル来館事業(愛称:ランらん)の試行について・・・資料2
 - ・ 尾張旭市児童厚生施設の管理運営に関する規則(抜粋)・・・参考資料

9 会議の要旨

事務局	<p>本日は、お忙しい中、児童館運営委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは、定刻となりましたので、ただ今から、令和元年度第1回尾張旭市児童館運営委員会を開会させていただきます。</p> <p>本日の議題に入るまでの間、進行役を務めさせていただきます、こども課こども係長の小椋でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の出席委員は12名でございますので、過半数の出席をいただいております。従いまして、尾張旭市児童厚生施設の管理運営に関する規則第8条の規定による定足数に達しておりますので、当会議は有効に成立いたしております。</p> <p>なお、当会議につきましては公開しておりますので、会議の傍聴席を設けてございます。また、会議録を作成し、市ホームページ等で公表をまいりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、はじめに開会にあたりまして、こども子育て部長よりあいさつを申し上げます。</p>
こども子育て部長	(こども子育て部長挨拶)
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前に配布し、お持ちいただきました資料といたしまして、「次第」とその裏面に「児童館運営委員会名簿」2枚目に「座席票」が添付してあります。</p> <p>3枚目に資料1「児童館事業の実施状況等について」とその資料として別紙1から別紙5を添付しております。</p> <p>その次に、次第から9枚目になりますが、資料2「ランドセル来館事業の試行について」の資料が2枚あり、最後に参考資料として「尾張旭市児童厚生施設の管理運営に関する規則」の抜粋が添付してあります。</p> <p>以上が本日の会議の資料となります。</p> <p>資料が不足しておりましたら、お声をかけていただきますようお願いいたします。よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>続きまして所属団体の委員の改選により、新たに運営委員会の委員となられた方を、ご紹介させていただきます。</p> <p>尾張旭市小中学校PTA連絡協議会の中川暢頭様です。中川様一言ごあいさつをお願いいたします。</p>
中川委員	(自己紹介)

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、資料の最後に添付してあります「尾張旭市児童厚生施設の管理運営に関する規則（抜粋）」を御覧ください。</p> <p>規則第7条第1項の規定により、「委員会には委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める」こととなっておりますので、以後の議事進行は昨年度委員長に選出されておられます長谷川環様をお願いいたします。</p>
長谷川委員長	<p>規定によりまして、この会議の議事進行を進めさせていただき委員長の長谷川です。よろしくをお願いいたします。</p> <p>会議の進行にあたり、行き届かない点多々あるかと思いますが、皆さま方から忌憚のない御意見をいただきながら、会議を円滑に進めてまいりたいと思いますので、御協力をお願いいたします。</p> <p>本日の会議の議題は、2つございます。</p> <p>会議としましては、概ね午前11時半頃を目途に終了できればと考えておりますので、御協力のほどをよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、「議題（1）の児童館事業の実施状況等について」に入ります。</p> <p>事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	議題（1）について資料1により説明
長谷川委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今、事務局から「児童館事業の実施状況等について」説明がありましたが、御質問、御意見がございましたら御発言をお願いします。</p>
大竹副委員長	<p>さきほど資料1の別紙3で各児童館の年間利用実績の説明がありましたが、市としては利用者の増加や減少は政策の方向性を決めるものとなりますか。</p> <p>利用者が少なくなれば、児童館事業を削減するような見直しをすることになるのでしょうか。</p> <p>近所の子ども達が神社で遊んでいたりする光景を見ることがありますが、児童館だけでなく子どもの遊び場や居場所が多ければ子ども達の満足度も上がると思うのですが、どうでしょうか。</p>

事務局	<p>児童館の利用者数の増減をもって児童館事業の方向性を決める訳ではなく、利用する親子や子ども達が満足できる事業とすることが重要と考えています。</p> <p>地域住民の方に利用いただける児童館を目指して認知度を上げて行くよう児童館行事のPR等を工夫して行ければと思っています。</p>
中川委員	<p>説明の中でありました「おはようサロン・子育て広場」について質問します。0歳から就学前の児童を持つ親子を対象とする事業とお聞きしましたが、実際に参加する保護者の方で父親の方はいるのでしょうか。</p>
事務局	<p>おはようサロンや子育て広場が開催されるのが平日ということもあり、父親の参加は少ないです。</p> <p>ただし、最近は平日に休みがとれば両親で参加する方も増えてきています。また祖父母で参加されるケースもあって母親以外の参加者は増えている状況です。</p>
村口委員	<p>私は渋川校区なのですが、資料1の別紙3で各児童館の年間利用実績の説明がありましたが、渋川小学校は児童数が一番少ないにもかかわらず、小学生の利用者数が児童館利用者の半数以上と多いです。何か理由があるのですか。</p>
事務局	<p>渋川児童館は児童クラブが併設されており、児童クラブの児童が児童館を利用することも多いため、他館と比較して小学生の利用が目立つということはあるかも知れません。</p>
小高委員	<p>私は東栄小学校区に住んでいますが、校区にある藤池児童館は、小学生の利用が他の児童館と比較して少ないです。</p> <p>民間学童クラブも校区内にあるので、児童館を利用する子どもが少ないのでしょうか。</p>
事務局	<p>毎日お母さんと遊びに来るお子さんもいて利用者は様々ですが、小学生の利用者は他館と比較して少ないです。</p> <p>民間学童クラブが別に校区内にあるのも事実ですが、子ども達も忙しく児童館を利用できないのかも知れません。</p> <p>短縮授業の時や部活動がない日は高学年の児童も来館してきます。思い出したときに来館できる児童館であればと思っています。</p>

秋田委員	<p>体力あそびについて質問します。</p> <p>体力あそびの時間が60分というのは、長くないでしょうか。子どもが続けられず、残り15分くらいでケンカしたり、先生に滅茶苦茶なことをしたりします。</p> <p>小学校は45分授業ですし、中学校でも50分授業です。わずかな時間ですが子どもに合わせて実施することは検討できませんか。</p>
事務局	<p>体力あそびの時間について、60分間が適正か児童館職員と話し合いたいと思います。</p>
長谷川委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に御質問、御意見はございませんか。</p> <p>御質問もないようですので、次の議題に移ります。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、議題（2）の「ランドセル来館の試行について」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題（2）について資料2により説明</p>
長谷川委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>只今、事務局から「ランドセル来館の試行について」の説明がありましたが、御質問、御意見がございましたら御発言をお願いします。</p>
谷山委員	<p>説明では、ランドセル来館の利用状況は、7校区26名との説明でしたが、利用者がいない校区があるということですか。</p> <p>それは、校区によって利用者に偏りがあるということでしょうか。</p>
事務局	<p>藤池児童館と白鳳児童館は、ランドセル来館の利用者はありません。利用者の多い館でも6人、少ない館は1人という状況です。</p> <p>今年度は10月にランドセル来館が始まったため、6ヶ月間と変則的な利用となり、周知も行き渡っていない状況もあろうかとは思われますが、校区によって利用者数に差がある理由までははっきりしていません。</p> <p>11月から令和2年度のランドセル来館利用者の申込みを受け付けますので、その結果を待って募集のあり方などを検討したいと思います。</p>
大竹副委員長	<p>基本的なことをお聞きしますが、ランドセル来館を実施するにあたってなぜこんなにも煩雑な手続きをしなければならないのですか。</p>

事務局	<p>児童クラブを利用する児童は、放課後、学校内や隣接する児童館にある児童クラブが下校先となっており、その他の子は寄り道せずに帰宅するのがルールです。</p> <p>帰宅せずに児童館を利用できるランドセル来館の議論の際には、利用のしやすさなどを考えて、煩雑な手続きなど設けずに利用できるようにする意見もありました。</p> <p>ただ、児童が児童館に来館していればよいのですが、そうではない場合に所在確認もできず不安という意見もあり、保護者の方には煩雑と思われるかも知れませんが、必要な手続きをしていただくこととしております。</p>
大竹副委員長	<p>児童クラブもランドセル来館もランドセルを背負って行くことに変わりはないものの児童への対応は別物ということですね。</p>
事務局	<p>児童クラブは、職員も多くて児童も基本的には毎日利用するので、名簿で一人ずつチェックすることもできます。</p> <p>ランドセル来館については少ない時は2人の児童館職員で対応をしなければならず、放課後にバラバラな時間で来館する児童の出席確認まで行うのは難しいため、まずは現行の方法で実施することとしました。</p> <p>担当課としても安全性を確保した上で手続きを簡素化できればとは考えておりますので、貴重な御意見として受け止めさせていただきたいと思っております。</p>
大竹副委員長	<p>私が児童の親ならこんなに面倒ならもういいやと思うのではないのでしょうか。また利用者が26人とこんなにも少ないものかと思ったのですが。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃるようにそう思われる保護者の方もあられるかもしれません。児童の下校に際しては色々と心配な点があるため、寄り道せずに帰宅するというのが基本で、その他の下校先として児童クラブや学童クラブがあります。</p> <p>ランドセル来館を始めるに際しては、登録なしでよいのではないかという思いもあったのですが、特に1年生や2年生の子は下校に際して心配もあることから小中学校の校長会などにも相談をさせてもらい、まずは3年生以上を対象にランドセル来館事業を試行することになった経緯がございます。</p> <p>募集にあたり、申請が多数あった時のことも考え、希望者多数の場合は抽選を実施することも予定していましたが、結果としてはそこまでの応募はありませんでした。</p> <p>開始時期につきましても、4月は新入生もいて下校の対応が大変ということもあって、年の途中で運動会も終わったこの時期に実施することになりました。</p>

	<p>子ども達が放課後に児童館へ来る時、また帰る時にまとまって移動するとしても、いずれかの時点で一人になるわけです。</p> <p>ですから、保護者の方には寄り道をせずに児童館へ行くよう、また自宅へ帰るようきちんと言い聞かせて、自分の身は自分で守るというような意識が育つこと、子ども達が親との約束をきちんと守って帰宅できることで、子どもの自立につながればと思っております。</p> <p>いずれにしても担当者が説明したようにまだ事業を始めて1ヶ月も経たないところですので、色々な方の意見や現場の状況なども考慮して、多くの方が利用できるものになればと思っています。</p> <p>保護者の方が児童クラブや学童クラブ、または児童館のランドセル来館事業といった選択肢の中で、ここがいいと選ぶことができるように、ランドセル来館事業が利用者のニーズに答えることができ、子ども達に安全で楽しい居場所の一つとして提供できればと考えています。</p> <p>今後とも気がついたことがあれば、御意見としていただければと思っております。よろしく願いいたします。</p>
長谷川委員長	<p>少し学校側の状況もお伝えしますと年間で何件か保護者から子どもが帰ってこないと連絡があります。</p> <p>いつもなら帰っている時間なのに帰ってこないという内容で、道草や友達と公園で遊んでいたりとといったものですが、連絡があれば他の教師と一緒に探しに行きます。</p> <p>無事に見つかって小学校へ電話を入れていただける保護者ばかりならよいのですが、連絡がなく自宅まで探しに行ったらすでに帰宅していたというようなこともありました。</p> <p>そういったこともあり、ランドセル来館の話があった時に子どもが自由に児童館へ行けるような制度にすると小学校では居場所を把握できず、心配する保護者の方も混乱されることが予想されるため、何らかの制度がないと受け入れることができないということになりました。</p> <p>またランドセル来館の利用希望は1、2年生が多いと予想されましたが、言いつけを正しく理解できる子どもばかりではなく、小学校から児童館までは集団下校できても自宅へ帰宅する際は一人で帰ることになることも考慮して利用対象児童を3年生以上とした少し厳しい制度にすることなどを取り決めました。</p>

長谷川委員長	<p>ランドセル来館事業を始めるにあたっては目的の一つとして児童クラブの待機児童対策も入っていますが、待機児童の有無に関係なく、全児童館で10月から始めさせていただくことにし、問題点があれば改善して全校区で対応できることになっています。</p>
大竹副委員長	<p>小学校の高学年児童は、サッカーやファンファーレ部といった部活動に参加していますが、部活動の準備は教師が行って指導者は別に招いてコーチするなどされているようですが、学校の部活動は今後無くして行くという流れがあるように思いますが、尾張旭市全体の方向性として小学校の部活動は無くす方向なのでしょうか。無くなれば児童館の利用者も急増すると思うのですが、どうなるのでしょうか。</p>
長谷川委員長	<p>市の中で部活動は平日週3回、休日1回にしようという方針が決まっており、平日は週2回はお休みの日を設けないといけないというルールのもとに行っています。</p> <p>今後の見通しとしては、名古屋市は小中学校ともに部活動は止めることになっていますが、尾張旭市では今のところ続けて行くことになるのではないかと考えています。</p>
中川委員	<p>P T Aの会員に何か要望があるかと問いかけると名古屋市で行っているトワイライトスクールを尾張旭市でもやってほしいという要望が毎年のように出てきます。</p> <p>今回、新たに試行されるランドセル来館（ランらん）とトワイライトスクールは具体的にどんなところが違うのでしょうか。</p>
事務局	<p>トワイライトスクールは、名古屋市独自の事業ですが、意味合いとしては放課後子ども教室に近い事業内容で、学校の余裕教室などで地域のボランティアの方などによって、子ども達の居場所づくりを展開していく事業になっています。</p> <p>それに対して尾張旭市では、今までは児童クラブと児童館で子どもの居場所づくり事業を行ってきました。</p> <p>事業の違いとしては、実施する場所が異なるということが挙げられます。ランドセル来館事業はあくまで児童館の中で行う事業で、放課後子ども教室というような扱いにはならず、国の事業名としては、放課後居場所緊急対策事業になります。</p>
長谷川委員長	<p>私は名古屋市在住なので、私が把握している私の子どもの学区だけの話かも知れませんが、説明したいと思います。</p> <p>まず、大きな違いは何かというとトワイライトスクールでは保険料として500円を支払い、保護者の就労状況に関係なく、誰でも登録できて、この日に行きますと申込めば使うことができること。あとは地域のボランティアの方がいてこの日はどんな授業を</p>

	<p>するのか事前に決まっており、例えば今日は囲碁をやるとか、ダンスをやる、あやとりをやるとか決まっていて子ども達は授業のメニューを見て好きな授業を受けて行くというような認識をしていました。</p> <p>ただし、名古屋も広いので他の校区によっては、違うことをしているかも知れませんが、私の住んでいる校区ではそうやって利用していました。</p>
事務局	<p>委員長がお住いの校区はそういった形で行われていたということですが、各校区によって違いがあると聞いています。</p> <p>ただし、保護者の就労状況を問わず、登録をしておけば子ども達が自由にイベントを選択して参加できるというところは変わりありません。</p> <p>本市の職員で名古屋市在住者からの情報では、あのイベントは楽しいけれど、このイベントはつまらないから行かないとか、他の校区は良いイベントがあっというらやましいということもあるようです。</p> <p>そうは言っても放課後の子ども達の居場所づくり事業として実施するもので、さきほど担当者が申しましたように尾張旭市の場合は、預かりの場として児童クラブと民間学童クラブがあり、それ以外として各校区にある児童館への自由来館があります。</p> <p>放課後に児童館へ遊びに行くには一度帰宅する必要があります。</p> <p>児童館の利用は、保護者の就労状況による制約もなく子どもであれば誰でも利用できる利点がありますが、遠方のお子さんも帰宅せずに児童館を使いやすくということと、児童クラブや民間学童クラブによる子どもの預かり事業を補完するという狙いもあって、今回のランドセル来館事業の試行に至りました。</p> <p>利用にあたっては登録の必要がありますが、市として力を入れた預り保育に加え、新たな事業として始めたというところで</p> <p>放課後児童健全育成事業への要望をお尋ねすると名古屋市のトワイライトスクールの実施を望む意見が出るのですが、尾張旭市も相当に子どもの居場所づくりに力を入れてきておりますので、PTA会長におかれましても、各会員へ経緯の説明をしていただけるとありがたく思います。</p>

長谷川委員長	<p>児童館を利用するにも一定のルールがあります。親としては子どもに利用してほしいと思っても、子ども自身の行く、行かないという思いや、どんなイベントがあるのかなどにも左右されるので、自由度が増しても必ずしも利用につながるかどうかは難しい面があると思います。</p>
川島委員	<p>名古屋市は一つの学区が狭いと思います。私は名古屋市から尾張旭市へ嫁いできたのですが、尾張旭市は学区がとても広くてすごく遠いところから学校へ歩いて行って放課後に児童館に遊びに行くのに一旦帰宅してから児童館へ出かけるのは負担感が大きいと感じていたので、とても尾張旭市に合った事業ではないかと思いました。</p> <p>それと聞き逃していたのであれば申し訳ないのですが、児童クラブの待機児童は何人くらいいるのか教えてもらえますか。</p>
事務局	<p>児童クラブ利用希望の待機児童数は、4月初めの時点で全校区合わせて50名程度でした。</p> <p>ランドセル来館を始めたからという訳ではないかと思いますが、夏休みが終わると段々とクラブを辞める子どもが増えてきて今日の時点では全校区とも待機児童はいない状況です。</p> <p>毎年、傾向としてはゴールデンウィーク明けや夏休み明けで、子どもも学校に慣れて一段落というところでの退所がありますが、年度当初は待機者が出ていますので、市としても何らかの対策をとということからランドセル来館事業を始めたところです。</p>
川島委員	<p>トワイライトスクールとの比較ではないのですが、トワイライトスクールは子どもが行きたい時に行きたいイベントに行けるのに対して、尾張旭市のランドセル来館も、保護者が仕事などの用事があって子どもに目が届かない時、児童館で見えてもらえれば安心と思うので、悪くない事業だと感じました。</p> <p>それとランドセル来館に行く予定だったのに学校で急に今日友達と約束したからと児童館へ行かずに友達のところへ行ってしまったような場合は、保護者にメールなどで連絡があるということでしょうか。</p>
事務局	はい、そのとおりです。
中島委員	<p>ランドセル来館に行く児童はバッジを付けるという話がありましたが、これはランドセル来館に行く日だけ付けるのでしょうか。いつも付けることになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ランドセル来館に行く日だけ付けていただきます。</p> <p>利用当日の朝に児童館に提出する連絡表を用意する際にバッジをランドセルに付けてもらうよう利用者に伝えています。</p>

秋田委員	<p>ランドセル来館の保護者向け説明会を8月5日に開催と書いてありますが、どういう形の説明会だったのでしょうか。</p> <p>学校ごとだったのでしょうか。それとも全体でということでしょうか。</p>
事務局	<p>市全体を対象にしてちょうどこの部屋で説明会を開催しました。小学3年生から6年生までの全校生徒の保護者を対象にランドセル来館が始まること。また、説明会を8月に開催することを案内した上で、開催させていただきました。</p>
秋田委員	<p>ランドセル来館への申込み状況をみると、保護者へのお知らせが行き渡らなかったということでしょうか。</p>
事務局	<p>ランドセル来館事業の案内書を小学校経緯で対象学年の生徒に1枚ずつ配布しており、かなりの方に行き渡ってはいると考えています。</p>
村口委員	<p>児童クラブについては、今の時点では待機者はいないということでしたが、4月初めには待機者出ていると聞いています。どうしてだんだんと利用者が減るのでしょうか。</p> <p>友人の子どもは児童クラブを利用できなかったため、友達は仕事を辞めざるを得なかったそうです。その後、仕事を辞めた後の夏休みを過ぎた頃に市から電話が来て利用者に空きができたので児童クラブを利用ができるようになったとお知らせが来たそうです。</p> <p>児童クラブを年度途中で辞めて行かれる方というのは、次の子どもの預け先をどうされているのでしょうか。</p>
長谷川委員長	<p>私の予想ですが、4月最初は1年生が特に増えると思います。最初の頃は心配なので児童クラブに行かせませんが、一人で鍵を開けてランドセルを置いて鍵を閉めて出かけられるようになると児童クラブへ行かずに自宅の近くで好きな友達と遊ぶようになるとか。児童クラブで上手く友達ができずに行くのが嫌になってしまっ辞めてしまうというようなことも考えられます。</p> <p>4月、5月と月が過ぎると、児童クラブを辞めて好きな子と自由に遊んでいたい子が増えて行くので利用者に空きができると思われます。</p>
村口委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>子どもの様子を見ていて、1年生はストレスがたくさんあるので、放課後からもう一度児童クラブへ行って、そこでも別の人間関係がある訳で、しんどくてやめてしまうのかなと思いました。</p>

高島委員	<p>ランドセル来館事業を詳しく伺った時に、やはり先の方と一緒に、友人の子どもが待機になって、それでも絶対仕事は止められないという中で、やっぱりこういう場所があるというだけですごく安心できると思います。</p> <p>また親の立場から言えば今は事件や事故も多くて家に帰ってくるまですごく心配なので、登録手続きがあっただけでちょうど良いというか、本当に制度がきちんとして運用されると良いと思いました。</p> <p>普通に遊びに行ってくるというのではなくて、安心して預けられる場所が一つ増えたという感覚なので、この事業がすごく良いものだと思いますし、すごく広がって行くの良いと思いました。</p>
長谷川委員長	<p>それでは、(3)「その他」について、事務局から何かありましたら、お願いします。</p>
事務局	<p>今後の会議開催予定について説明</p>
長谷川委員長	<p>ありがとうございました。他に御質問、御意見はございませんか。</p> <p>では、本日予定しておりました議題は全て終了いたしました。議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、令和元年度第1回尾張旭市児童館運営委員会を閉会いたします。</p>